



# 子育て支援施設 & 催しのご案内

## ◆多久市児童センター◆

4月1日オープン

旧北部小学校跡施設を活用して改修を行い、新たに児童センターとして生まれ変わりました。「児童センター」では

- 児童館
- 子育て支援センター
- ファミリー・サポート・センター事業
- 利用者支援事業
- 発達障害児等療育事業
- 佐賀県西部発達障害者支援センター（県事業）等の事業を行います。

施設内には児童遊園も備えています。就学前の子どもと小学生も安心、安全に楽しめます。利用対象者は0歳から18歳までの児童およびその保護者です。

開館時間：9時から18時まで（小学生は17時まで）  
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）  
12月29日から1月3日まで

\*市報4月号でくわしい内容をご紹介します。

▼問い合わせ 福祉課 とも係 ☎75-6118

## 子育て支援センター

☎75-5780  
(杉の子保育園内)

### ◆子育てクラブ「わくわくひろば」

日時 毎週木曜日（祝日休み） 10時～12時

場所 杉の子保育園内

### ◆わくわく広場

日時 月～土曜日（祝日休み） 9時～17時

### ◆子育て相談（電話相談可）

日時 月～土曜日（祝日休み） 9時～17時

\*杉の子保育園内での実施は3月31日までとなります。

人権教育 No. 239

# とくに生

## 「部落差別解消推進法」に思う

部落差別の解消の推進に関する法律が、平成28年12月16日から施行されました。「部落差別」の名称が付く初の法律です。第一条には、「現在もなお部落差別が存在する」とし、「部落差別は許されないものである」との認識の下に、「部落差別のない社会を実現する」としています。

「部落」とは、本来は人が集まって住む集落のことです。部落差別とは、特定の「集落」および「その集落に住む人」を忌避したり排除したりする差別のことを言います。このような差別意識は、長い歴史の中で、社会の意識として形成されてきました。この部落差別にまつわるさまざまな問題を、同

和問題といえます。

これまで、同和問題の解消を目指して、国策として同和対策事業が推進されましたが、差別は解消されず、現在もなお根深く存在しています。たとえば、身元調査や土地差別調査、インターネット上で同和地区の所在地等の流布や差別書き込みなど、同和問題は、解消するどころかより悪質に、より広範に、そしてより陰湿化しています。こうした実態の中で、悩み、痛み、苦しめられている人がいます。

人には等しく幸せになる権利があります。私たちは、同和問題を他人事にするのではなく、正しい理解や解決に向けた取り組みを共有し、積極的にこの問題に取り組んでいかなければなりません。

社会教育指導員 野中久美子

## 市交際費の支出状況

▶平成29年度1月分

支出種別	区分	件数	金額 (円)
弔慰	今月分計	0	0
	今月累計	34	157,100
見舞い	今月分計	0	0
	今月累計	4	40,000
御祝	今月分計	1	2,000
	今月累計	47	236,600
賛助	今月分計	0	0
	今月累計	2	9,000
激励金	今月分計	0	0
	今月累計	0	0
接遇	今月分計	1	1,120
	今月累計	16	121,318
会費	今月分計	19	54,000
	今月累計	56	234,440
その他	今月分計	0	0
	今月累計	0	0
合計	今月分計	21	57,120
	今月累計	159	798,458

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課 秘書係 ☎75-2115

# 市民文芸

## 短歌

《麦の芽短歌会 互選》

うす緑 羽根美しきウグイスの  
わが庭先につかの問（田淵 ミチ子）

壮大な計画なんてあり得ない  
私（私）がわたしを生きるのだから（野崎 隆幸）

烏帽子岩 浮かべて穏し春の海  
箱根駅伝戦い荒れる（浦野 嘉恵）

切れ味の悪き斧 弁聞きつつに  
わが一票の責任思ふ（本村 則子）

縄とびに夢中になりし曾孫は  
豊の部屋も平気の平左（福岡那智子）

## 俳句

《大石ひろ女 選》

麦の芽の 縞を織り成す 佐賀平野  
倉成 皓二

室の花 匂ひ出でたる 婚の席  
武富 律子

熱燗や 早や一病の癒ゆ思ひ  
中嶋 清子

冬銀河 空いちめんの色 函鑑  
富樫 明美

裸木の 森を自在に 風の神  
おおやはな

## 川柳

《多久市川柳会 互選》

春を愛で 春を食する ふきのとう  
猪ノ口 昭子

急いでは 駄目ですここぞ 深呼吸  
大谷 和

事故現場 急いでたでは 許されぬ  
田代まつこ

化粧室 造る下地の 長時間  
井上 東子

トランプ 氏世界を 素手で 掻きまぜる  
松下 修

